

# 社会科学学習指導案

日 時 平成 20 年 10 月 9 日 (木) 5 校時  
場 所 2 年 B 組教室  
学 級 2 年 B 組 (男 17 名 女 16 名 計 33 名)  
指導者 教諭 早坂 真

- 1 単元名 第 1 節 第一次世界大戦とアジア・日本 「第一次世界大戦と日本」
- 2 単元の目標
  - ・第一次世界大戦前後の国際情勢のあらましや日本の動きを理解させる。
  - ・民族運動の高まりや国際平和への努力、同時期の日本国民の政治的自覚の高まりに気づかせる。
- 3 単元について

本単元では、現行学習指導要領の内容(5)近現代の日本と世界のオで示されている通り、第一次世界大戦から、その後の国際協調と国際情勢が変化する時期に日本の動きを理解させるとともに、アジアをはじめとする民族運動の高まり、日本国民の政治意識の高まりを気づかせることをねらいとしている。学習活動では主にその「あらまし」を理解させることにつとめ、基礎・基本の定着を図りたい。
- 4 生徒の実態

生徒の授業に対する取り組みは概ね良好である。しかし、発言は既習事項の確認等の簡単な発問や浅い思考による「思いつき」の発言に限られ、既習事項をもとにした新しい問題を追究するような学習を進展させようとする力は乏しい。また、学習プリントやグラフを活用しながら社会科を苦手とする生徒にも配慮していきたい。
- 5 本題材における「教え合い・学び合い」活動について

第一次世界大戦の様相と日本の立場、日本の対中国政策のねらい等についての資料やグラフを適切に提示することにより生徒の発言や考えを引き出したい。その際、生徒が他の発表を聞くことやグループでの話し合い活動によって理解を深め、さらに、学習の手だてを支援しながら、その内容を整理していきたい。
- 6 単元の評価規準
  - (1) 関心・意欲・態度  
第一次世界大戦前後の国際情勢と日本国民の高まりに関する資料を基に意欲的に追究しようとする。
  - (2) 思考・判断  
第一次世界大戦前後の国際情勢や日本国民の政治的自覚についての政治、社会の動きとその特色を多面的・多角的に考察できる。
  - (3) 技能・表現  
第一次世界大戦前後の国際情勢や日本国民の政治的自覚の高まりを追究し、考察したことをまとめ説明することができる。
  - (4) 知識・理解  
第一次世界大戦前後の国際情勢のあらましや日本国民の政治的自覚について理解し、説明できる。
- 7 指導計画

第 1 節 第一次世界大戦とアジア(8 時間扱い)

  - ・第 1 次世界大戦前の国際情勢…… 1 時間
  - ・第 1 次世界大戦と日本…… 1 時間…本時
  - ・ロシア革命とシベリア出兵…… 1 時間
  - ・国際協調の高まり…… 1 時間
  - ・アジアの民族運動(朝鮮・インド) … 1 時間
  - ・大正デモクラシー…… 1 時間
  - ・広がる社会運動…… 1 時間
  - ・都市化と大衆文化…… 1 時間

## 8 指導の評価と展開

### (1) 本時の目標

- ①日本の参戦の理由を「二ヶ条の要求」や当時の日本の経済状態と関連づけて考えることができる。
- ②第一次世界大戦中の日本の進出地域がわかる。

### (2) 本時の具体の評価規準

	A(十分満足できる)	B(概ね満足できる)	C(努力を要する生徒への手だて)
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦中に輸出が増加した理由を資料やグラフをもとに説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦中に輸出が増加した理由を簡単に説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の発表を参考にしながら、学習プリントに記入する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本が参戦した理由を二ヶ条の要求の意図や資料から説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本が参戦した理由を資料を基に簡単に説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の発表やグループでの学習を参考にしながら参戦の理由を学習プリントに記入する。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の進出地域がチンタオ、シャントン半島であることがわかり、地図上で位置を指摘できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の進出地域がチンタオ、シャントン半島であることがわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の進出地域であるチンタオ、シャントン半島の位置を確認させる。</li> </ul>

(3) 本時の展開 □ は「教え合い・学び合い」のポイント

段階	学習内容	学習活動	教師の指導・支援	◎評価・留意点
導入 5分	1. 前時の復習  2. 学習課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>三国同盟・三国協商等を確認する。</li> <li>戦場はヨーロッパ</li> <li>ヨーロッパの火薬庫</li> <li>バルカン半島</li> <li>新兵器の登場</li> <li>各国の死傷者数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図・資料を提示し、確認させる。</li> </ul>	資料1 (地図) 資料2 (バルカン半島) ◎既習を基に発言しているか。
展 開 35分	日本はなぜ参戦したのだろうか			
	3. 予想を立てる。  4. 輸出が急増した理由を考える。  5. 日本の進出地域を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日英同盟を理由に参戦した。</li> <li>アジアへ勢力を広げたい。</li> <li>アジアへの拡大</li> <li>同盟国への拡大</li> <li>ヨーロッパからの輸入の減少</li> <li>大戦景気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を生かし発表させる。</li> <li>何を表したグラフか、縦軸、横軸、単位の確認</li> <li>班で話し合い考えをまとめさせる。</li> </ul>	グラフ1 (日本の貿易収支) グラフ2 (日本の輸出先) 資料3 (大戦景気の風刺画) ◎気づいたことをプリントに記入しているか。 ◎自分の考えや班の考えをプリントに記入しているか。 資料4 (二ヶ条の要求) ◎プリントに記入しているか。
	6. 参戦を進めた政治家について資料を読みとる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の死傷者数。</li> <li>地図で確認する。(中国・シヤン半島)</li> <li>二ヶ条の要求の意図や条件を資料から読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパには進出していないことを確認する。(導入部にフィードバックする)</li> <li>日本が有利だと思う点を発表させる。</li> </ul>	
まとめ 10分	7. 日本の参戦の理由は日英同盟だが、本当のねらいはアジアへの勢力拡大と景気回復であった。  8. 次時の予告 <ul style="list-style-type: none"> <li>国際協調</li> <li>中国国民の抵抗運動</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>価値観の押しつけにならないように配慮する。</li> <li>参戦について、よかったのかどうか、当時の日本の状況や石橋湛山の提言等から、自分の考えを持つ。</li> </ul>	資料5 (石橋湛山) 資料6 (ニューヨークタイムズ) グラフ3 (石橋湛山の声明のグラフ化)

(4) 本時の評価

- ①日本の参戦の理由を「二ヶ条の要求」や当時の日本の経済状態と関連づけて考えることができたか。
- ②第一次世界大戦中の日本の進出地域がわかったか。